

令和6年度岩手県学習定着度状況調査から見える花巻市の状況 ～結果の分析と改善の手立て～(花巻市教育委員会)

令和6年10月2日(水)、小学校5年生(市内683人)、中学校2年生(市内655人)を対象に、小5国語・算数、中2数学・英語の教科調査と普段の生活や学習の様子50項目からなる児童生徒質問紙調査等が実施されました。

教科調査については、小5は国語・算数で県を下回りましたが、「予測値と実績値の差」つまり「1年間の成長」としては両教科とも過去最大幅の伸びとなりました。中2数学も過去最大幅の伸びとなり、平成28年度以来8年ぶりに県を上回りましたが、英語は僅かに届きませんでした。

児童生徒質問紙調査については、小5・中2とも肯定的回答で県を上回る項目の割合が大幅に増え、下回る項目が減りました。近年は小5で望ましい回答傾向が激減し、中2でも望ましい回答傾向が減少していましたが、小5で歯止めがかかり、中2で大きく改善しました。

改善の要因としては、原則悉皆とした小5児童・中1生徒対象講話、全保護者対象講演、教員対象授業改善講義等を活用して課題解決の取組を素早く組織的に推進した学校が増えたことが挙げられます。今後、これら望ましい変容を偶然とせず取組を続け広げるため、「学力向上に係る方向性と具体策」に実践を紹介します。

令和6年度教科調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)―県との比較から―

◆ 県の平均正答率との比較 ※正答率は小数点以下を四捨五入して整数値で表示。本年度から中学校国語の教科調査がなくなり、英語はIBAを活用した調査から県作成の調査に変更。 【単位%】

小学校5年生	国語	算数	中学校2年生	数学	英語
花巻市	57	48	花巻市	44	43
岩手県	59	50	岩手県	43	44

【小学校】 国語・算数とも県を下回り課題 国語・算数とも過去最低だった前年度より改善
県差は国語・算数とも－2ポイント。過去最低を更新した前回調査の県差に比べ国語・算数とも＋1ポイントと県差が縮小。

【中学校】 数学は過去最低の前年度を大きく上回り改善 英語は県を僅かに下回り課題
県差は数学＋1ポイント、英語－1ポイント。前回調査の県差に比べ数学＋6ポイント、英語±0ポイント、過去最低を更新した前回調査の数学で県差が大幅に改善。

◆ 各種平均正答率の経年変化

※添付資料1「令和6年度全国学調・県学調の予測値と期待値(目標値)から算定した1年間の成長」参照
(上表県差は平均正答率を四捨五入して整数値の差で求めた数値、添付資料1県差は平均正答率の差を四捨五入した数値)

【小学校】 国語、算数とも厳しい結果も、1年間の成長としては過去最大幅の伸び

小5はR5小4標準学力検査(以下「CRT」)、R4小3CRTいずれにおいても過去最低を更新し続け、過去最低だった前回調査よりさらに厳しい結果が予測されていました。そこで、本年度は小5児童対象講話、保護者対象講演、教員対象授業改善講義を原則悉皆として力を入れました。その結果、取組の効果が数字に表れる小学校が増え、国語・算数とも1年間の成長としては過去最大幅の伸びとなりました。

【中学校】 数学は平成28年度以来8年ぶりに県を上回り改善 英語は僅差で推移

中2は現中3と比較してR5中1CRT、R5中1新入学生学調、R3小6全国学調等の学力調査で僅かながら改善が見られていました。中1生徒対象講話、中学校数学・英語Gアップシートに加え、単独若しくは小学校との合同授業改善研修会、受け入れ小学校の学力安定等の効果が徐々に表れる中学校が増え、特に数学の改善が際立ち、平成28年度以来8年ぶりに県の平均正答率を上回りました。

◆ 小問ごと平均正答率の比較

【小学校】 小問数は国語 24 問・算数 25 問。県を上回る小問数は国語 7 問・算数 2 問、下回る小問数は国語 17 問・算数 23 問。県を 5 ポイント以上上回る大差の小問数は国語・算数とも 0 問、5 ポイント以上下回る大差の小問数は次の国語 4 問・算数 3 問。国語・算数とも県差で前年度より改善。

- 国語 [2] (6) ア 第 4 学年配当漢字「種類」を正しく書く。
平均正答率 花巻市 60.0% 岩手県 65.2% 差 -5.2 ポイント
- イ 第 4 学年配当漢字「果（たして）」を正しく書く。
平均正答率 花巻市 58.7% 岩手県 64.7% 差 -6.0 ポイント
- [3] (3) 修飾と被修飾との関係を理解する。
平均正答率 花巻市 34.2% 岩手県 39.6% 差 -5.4 ポイント
- [4] (3) ② 目的に応じて、必要な情報を見付けて読む。
平均正答率 花巻市 55.9% 岩手県 60.9% 差 -5.0 ポイント

「第 4 学年配当漢字」「修飾と被修飾との関係」に係る設問は、前年度も県を 5 ポイント以上下回っていることから、今後の指導に際しては留意したい学習内容です。

- 算数 [6] (2) 四角形に 2 本の対角線を引いたときの、その対角線の交わり方がわかる。
平均正答率 花巻市 19.4% 岩手県 24.8% 差 -5.4 ポイント
- [11] (3) 2 つの折れ線グラフを読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明することができる。
平均正答率 花巻市 11.5% 岩手県 17.1% 差 -6.2 ポイント
- [13] (1) 直方体を組み合わせた形の体積の求め方を理解し、その求め方を立式することができる。
平均正答率 花巻市 28.9% 岩手県 34.8% 差 -5.9 ポイント

「折れ線グラフの読み取り」「直方体を組み合わせた形の体積」に係る設問は、前年度も県を 5 ポイント以上下回っていることから、今後の指導に際しては留意したい学習内容です。

【中学校】 小問数は数学 25 問・英語 24 問。県を上回る小問数は数学 15 問・英語 10 問、下回る小問数は数学 9 問・英語 14 問。県を 5 ポイント以上上回る大差の小問数は数学・英語とも次の各 1 問、5 ポイント以上下回る大差の小問数は数学・英語とも 0 問。数学は大きく改善し、英語も概ね望ましい方向。

- 数学 [6] (4) グラフが表す式を求めることができる。
平均正答率 花巻市 61.2% 岩手県 50.8% 差 +10.4 ポイント

数学は県を 5 ポイント以上上回る設問があり、5 ポイント以上下回る設問が前年度の 6 間から本年度 0 間へと大きく改善、各中学校の指導の効果が数字に表れています。

- 英語 [2] (2) 日常的な話題について、対話を聞き、対話の概要を捉えて適切な対応を選ぶことができる。
平均正答率 花巻市 66.8% 岩手県 61.4% 差 +5.4 ポイント

英語も県を 5 ポイント以上上回る設問があり、5 ポイント以上下回る設問が 0 間で改善傾向、しかし英語は県と全国との差が大きいことからさらに改善に向けた取組が求められます。

添付資料 1

令和6年度全国学調・県学調の予測値と実績値から算定した1年間の成長

令和6年12月17日 花巻市教育委員会学校教育課

I 平均正答率を1年間の学力向上の取組の目標に設定するときの問題点と解決の手立て

平均正答率を目標にして1年間の取組の効果を検証しようとする、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力の差などによって平均正答率が左右され、1年間の取組の効果が捉えにくくなります。また、学力調査は相対評価のNRTや絶対評価のCRTなど標準化作業を経た「標準学力検査」と全国学調、県学調、市販テスト、教師自作テストなどの標準化作業を経ない「非標準学力検査」に大別され、前者が得点率を用いて年度をまたぐ評価を可能にするのに対して、後者は調査問題の難易度が異なるために平均正答率の比較が意味をなさないこともあります。さらに、中学校数学、英語などは全国レベルと県レベルの調査母体の格差が大きく、全国学調と県学調など異なる調査間の比較を難しくすることもあります。つまり、平均正答率を目標に1年間の取組の効果を検証するためには、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差などを踏まえて評価する必要があります。

そこで花巻市では、「平成31年度（令和元年度）花巻市学力向上アクションプラン」から児童生徒の意識調査結果を指標に掲げて1年間の取組の効果を検証することにしました。同時に、これまで積み上げてきた学力データと当該集団の直近の学力実績を基にして、過去の学級・教科指導環境や集団の潜在能力、調査問題の難易度、調査母体の格差など平均正答率に及ぼす影響を可能な限り補正し、1年間の学校・教職員の取組や児童生徒の頑張りを評価する手立てを模索し、1年間の学校・教職員の指導効果や児童生徒の成長を看取することができるようにしました。令和2年度はコロナ禍で全国学調と県学調が中止になり令和3年度全国学調の予測値を算定して期待値（目標値）を設定することができませんでした。令和4年度以降は部分的に令和2年度の全国学調と県学調の中止の影響を受けつつも期待値（目標値）の設定が可能になっています。

II 令和6年度小4～前8義務教育段階のCRT・県学調・全国学調の花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧【単位ポイント】

R 6 年度 学年	小 3 全国 CRT	国 語	算 数	小 4 全国 CRT	国 語	算 数	小 5 県 学調	国 語	社 会	算 数	理 科	小 6 全国 学調	国 語 A	国 語 B	算 数 A	算 数 B	理 科	新 入 生	国 語	数 学	中 1 全国 CRT	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語 CanDo	中 2 県 学調	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語 IBA	中 3 全国 学調	国 語 A	国 語 B	数 学 A	数 学 B	理 科	英 語			
小 3	R6			R7			R8					R9							R10			R11																				
小 4	R5	0	+1	R6			R7					R8							R9																							
		課題																																								
小 5	R4	-2	-2	R5	-2	-4	R6	-2	-	-3	-	R7							R8																							
		最低危機			過去最低																																					
小 6	R3	+1	+2	R4	+1	0	R5	-3	-	-3	-	R6	-2		-8				R7																							
		課題			過去最低			過去最低大きく更新																																		
中 1	R2	+4	+5	R3	+3	0	R4	-1	-	-2	-	R5	-1		-4				R6	-3	-3																					
					課題			過去最低危機的					算数過去最低危機的																													
中 2	R1	+3	+3	R2	+4	+4	R3	0	-	+1	-	R4	0		-2	-2			R5	0	-1																					
					改善			前々学年より国算改善					前学年より改善も課題大																													
中 3	H30	+5	+5	R1	+4	+5	R2	コロナ 中止	-	コロナ 中止	-	R3	-2		-4				R4	-3	-3																					
					改善			過去最低危機的					過去最低危機的																													
高 1	H29	+5	+5	H30	+2	+2	R1	-1	0	-1	0	R2	コロナ中止						R3	0	-2																					
					課題			学力・意識とも過去低下																																		
高 2	H28	-	-	H29	+3	+4	H30	0	+1	+1	0	R1	+4		0				R2	コロナ中止																						
								前学年より国語改善数理低下					前学年並みに安定																													
高 3	H27	-	-	H28	-	-	H29	-1	+1	+2	+1	H30	+3	+1	0	0	+1		R1	-1	0																					
								前学年より国語低下算数改善					前学年並みに安定																													
前 1	H26	-	-	H27	-	-	H28	+1	0	0	+1	H29	+2	+1	+1	-1	-		H30	0	-2																					
								前学年よりさらに算数低下					前年度・前学年より改善																													
前 2	H25	-	-	H26	-	-	H27	+1	0	+2	+1	H28	0	+1	0	0	-		H29	0	+1																					
								前学年までより大きく低下					前学年までより大きく低下																													
前 3	H24	-	-	H25	-	-	H26	+3	+3	+4	+4	H27	+5	+5	+3	-1	+5		H28	+1	0																					
前 4	H23	-	-	H24	-	-	H25	+3	-	+6	+4	H26	+3	+4	+2	+4	-		H27	+1	0																					
前 5	H22	-	-	H23	-	-	H24	+1	-	+4	+3	H25	+2	+3	+1	+1	-		H26	-	-																					
前 6	H21	-	-	H22	-	-	H23	+1	-	+1		H24	抽	出	校	集	計		H25	-	-																					
前 7	H20	-	-	H21	-	-	H22	0	-	+3	-	H23	震	災	未	実	施		H24	-	-																					
前 8	H19	-	-	H20	-	-	H21	+1	-	+2	-	H22	抽	出	校	集	計		H23	-	-																					

【本資料の要点】 令和6年度全国学調全国比予測値は小6国語-2.6、算数-4.8、中3国語-1.1、数学-8.4で、実績値は小6国語-1.7、算数-8.4、中3国語-2.1、数学-6.5でした。1年間の成長値は小6国語+0.9、算数-3.6、中3国語-1.0、数学+1.9、小6国語と中3数学はプラス成長、小6算数と中3国語はマイナス成長でした。令和6年度県学調県比予測値は小5国語-5.5、算数-7.2、中2数学-3.4、英語-0.9で、実績値は小5国語-2.1、算数-2.5、中2数学+0.7、英語-0.5でした。1年間の成長値は小5国語+3.4、算数+4.7、中2数学+4.1、英語+0.4、小5国語・算数、中2数学・英語すべてでプラス成長、特に小5国語・算数、中2数学は1年間の成長としては過去最大幅の伸びでした。

【本資料の要点】 令和6年度全国学調全国比予測値は小6国語-2.6、算数-4.8、中3国語-1.1、数学-8.4で、実績値は小6国語-1.7、算数-8.4、中3国語-2.1、数学-6.5でした。1年間の成長値は小6国語+0.9、算数-3.6、中3国語-1.0、数学+1.9、小6国語と中3数学はプラス成長、小6算数と中3国語はマイナス成長でした。令和6年度県学調県比予測値は小5国語-5.5、算数-7.2、中2数学-3.4、英語-0.9で、実績値は小5国語-2.1、算数-2.5、中2数学+0.7、英語-0.5でした。1年間の成長値は小5国語+3.4、算数+4.7、中2数学+4.1、英語+0.4、小5国語・算数、中2数学・英語すべてでプラス成長、特に小5国語・算数、中2数学は1年間の成長としては過去最大幅の伸びでした。

Ⅲ 令和6年度全国学調の予測値と期待値（目標値）の算定

1 6年度小6全国学調					国語	社会	算数	理科	2 6年度中3全国学調					国語	社会	数学	理科	英語
ア	前5～中1・9個学年の小5県学調県差の平均実績値				+0.7	+1.0	+1.9	+2.0	ア	前8～高1・9個学年の中2県学調県差の平均実績値（英語混）				+0.7	0	-0.7	-0.6	-1.4
イ	前5～中1・9個学年の小6全国学調全国差の平均実績値				+1.1	—	+0.1	+1.3	イ	前8～高1・9個学年の中3全国学調全国差の平均実績値				+0.6	—	-4.1	-2.0	-8.5
ウ	全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值）	イ－ア			+0.4	—	-1.8	-0.7	ウ	全国学調と県学調の平均実績値の差（補正值）	イ－ア			-0.1	—	-3.4	-2.6	-7.1
エ	小6の小5県学調県差の実績値				-3.0	—	-3.0	—	エ	中3の中2県学調県差の実績値（英語 IBA）				-1.0	—	-5.0	—	-1.0
オ	小6全国学調全国差の予測値	エ＋ウ			-2.6	—	-4.8	—	オ	中3全国学調全国差の予測値	エ＋ウ			-1.1	—	-8.4	—	-8.1
カ	学力向上取組による加算				+1.0	—	+1.0	—	カ	学力向上取組による加算				+1.0	—	+1.5	—	+1.5
キ	小6全国学調全国差の期待値（目標値）	オ＋カ			+1.6	—	-3.8	—	キ	中3全国学調全国差の期待値（目標値）	オ＋カ			-0.1	—	-6.9	—	-6.6
3 全国学調の予測値と実績値から算定した小6・中3段階の1年間の成長					※ 予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。													

令和 6年度 の学年	小学校 6年						令和 6年度 の学年	中学校 3年								
	国語			算数				国語			数学			英語		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長		予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小6	-2.6	-1.7	+0.9	-4.8	-8.4	-3.6	中3	-1.1	-2.1	-1.0	-8.4	-6.5	+1.9	-8.1	-	-
中1	+0.4	-1.2	-1.6	-4.1	-3.5	+0.6	高1	-1.2	-0.8	+0.4	-5.3	-7.0	-1.7	-4.4	-10.6	-6.6
中2	+1.2	+0.4	-0.8	-1.4	-2.2	-0.8	高2	+2.9	+2.0	-0.9	-5.5	-3.4	+2.1	-4.5	未実施	-
中3	算定不能	-1.7	-	算定不能	-4.2	-	高3	算定不能	+1.4	-	算定不能	-4.2	-	-5.5	未実施	-
高1	+0.5	データ無	-	-2.9	データ無	-	前1	+0.1	データ無	-	-3.7	データ無	-	-5.4	未実施	-
高2	+1.6	+4.2	+2.6	-1.5	+0.4	+1.9	前2	-0.6	+1.2	+1.8	-6.3	-5.6	+0.7	-6.3	-6.0	+0.3
高3	+1.4	+2.3	+0.9	+2.8	+0.5	-2.3	前3	+0.6	+1.9	+1.3	-5.3	-2.5	+2.8	-	未実施	-
前1	+2.1	+1.9	-0.2	-2.7	+0.3	+3.0	前4	+1.4	+1.7	+0.3	-2.0	-1.9	+0.1	-	未実施	-
前2	+0.9	+0.8	-0.1	-0.8	+0.1	+0.9	前5	-0.2	+0.6	+0.8	-3.9	-3.0	+0.9	-	未実施	-
前3	+4.3	+5.1	+0.8	+1.4	+0.9	-0.5	前6	-0.5	-2.9	-2.4	-5.0	-6.0	-1.0	-	未実施	-
前4	+4.3	+3.1	-1.2	+3.0	+2.9	-0.1	前7	+0.1	+0.1	0	-3.5	-3.9	-0.4	-	未実施	-
前5	+2.6	+2.5	-0.1	+1.5	+0.7	-0.8	前8	+1.3	+1.7	+0.4	-1.1	-3.7	-2.6	-	未実施	-

【本資料の活用方法】
ここ10年余り、花巻市の全国学調や県学調の正答率は下がり続けています。教職員や児童生徒が1年間頑張っても、正答率が下がり続ける流れの中、教職員や児童生徒は成果を実感できずモチベーションは低下する一方です。そこで、本資料を活用して1年間の成長の度合いを評価し、教職員や児童生徒のやりがいや意欲を前向きに評価してみてはいかがでしょうか。

「Ⅲ 2 エ」の囲み数字は花巻市のデータですが、ここに各学校のデータを入れ替え算定していただければ、各学校の予測値、期待値（目標値）、1年間の成長を求めることができます。

Ⅳ 令和6年度県学調の予測値と期待値（目標値）の算定

1 6年度小5県学調					国語	社会	算数	理科	2 6年度中2県学調期					国語	社会	数学	理科	英語
ア	高2～小6・5個学年の小4CRT全国差の平均実績値				+2.6	—	+2.0	—	ア	前2～中3・5個学年の中1CRT全国差の平均実績値（英語 CanDo）				+0.8	-1.0	-4.4	+0.7	-1.6
イ	高2～小6・5個学年の小5県学調県差の平均実績値				-1.0	+0.5	-0.8	0	イ	前2～中3・5個学年の中2県学調県差の実績値（英語 IBA）				+0.2	-1.5	-2.6	-0.5	-1.2
ウ	県学調とCRTの平均実績値の差（補正值）	イ－ア			-3.6	—	-2.8	—	ウ	県学調とCRTの平均実績値の差（補正值）	イ－ア			-0.6	-0.5	+1.8	-1.2	+0.2
エ	小5の小4CRT全国差の実績値				-1.9	—	-4.4	—	エ	中2の中1CRT全国差の実績値（英語 CanDo）				-0.6	-4.7	-5.2	-5.0	-1.1
オ	小5県学調県差の予測値	エ＋ウ			-5.5	—	-7.2	—	オ	中2県学調県差の予測値（英語 IBA）	エ＋ウ			-1.2	-5.2	-3.4	-6.2	-0.9
カ	学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）				+1.0	—	+1.0	—	カ	学力向上取組による加算（低過ぎ？高過ぎ？）				+1.0	+1.0	+1.5	+1.0	+1.5
キ	小5県学調県差の期待値	オ＋カ			-4.5	—	-6.2	—	キ	中2県学調県差の期待値（英語 IBA）	オ＋カ			-0.2	-4.2	-1.9	-5.2	+0.6
3 県学調の予測値と実績値から算定した小5・中2段階の1年間の成長					※ 予測値と実績値の差を1年間の成長とみなします。													

令和 6年度 の学年	小学校5年					
	国語			算数		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小5	-5.5	-2.1	+3.4	-7.2	-2.5	+4.7
小6	-3.2	-3.4	-0.2	-3.5	-2.8	+0.7
中1	+0.3	-0.8	-1.1	-3.0	-1.8	+1.2
中2	+1.0	-0.5	-2.5	+1.5	+0.5	-1.0
中3	+1.1	データ無	—	+2.3	データ無	—
高1	-1.1	+1.1	+2.2	-0.9	-0.9	0
高2	-0.2	-0.2	0	+1.0	+1.0	0

令和 6年度 の学年	中学校2年								
	国語			社会			数学		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
中2	-1.2	—	—	-5.2	—	—	-3.4	+0.7	+4.1
中3	-1.3	-1.0	+0.3	-3.6	—	—	-6.2	-4.3	+1.9
高1	+1.0	-0.6	-1.6	-1.7	—	—	-1.0	-2.1	-1.1
高2	+1.4	+3.0	+1.6	-0.6	未実施	—	-1.6	-2.0	-0.4
高3	+2.0	データ無	—	+1.5	データ無	—	-0.6	データ無	—
前1	+0.5	+0.4	-0.1	+0.4	-1.0	-1.4	-2.4	-1.2	+1.2
前2	+0.2	+0.2	0	-1.4	-1.4	0	-2.8	-2.8	0

注 英語に係る補足説明
R5 までは英語の中1CRTは Can Do(県比)、中2県学調は英検 IBA(県比)。R6 からは中1県学調は英検 IBA(県比)、中2県学調は県作成問題。なお、英検 IBA は「書くこと」等がないので、Can Do の出題領域とは異なる。

令和6年度 児童生徒質問紙調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)-県との比較から-

◆ 児童生徒質問紙調査の全体的な回答傾向

児童生徒質問紙調査については、小5・中2とも肯定的回答で県を上回る項目の割合が大幅に増え、下回る項目の割合が減っています。近年は小5で望ましい回答が激減し、中2も望ましい回答が減少していましたが、本年度は小5で歯止めがかかり、中2で大きく改善しました。

過去の傾向として、学習で成果を上げている児童生徒は、基本的な生活習慣、人としての在り様、学習に対する姿勢等の大部分の質問項目で望ましい回答が多いことから、小5・中2は「自分と向き合う力」「自分を高める力」「人とかかわる力」、いわゆる非認知スキルが高まったと考えられます。

花巻市小5・中2変容状況		肯定的回答が県を上回る 質問項目の数(割合)	肯定的回答が県と同等の 質問項目数(割合)	肯定的回答が県を下回る 質問項目の数(割合)
小学校5年生	令和6年度 ↑	24(49%) ↑増	13(27%) ↑増	12(24%) ↑減
	令和5年度	6(12%)	6(12%)	37(76%)
中学校2年生	令和6年度 ↑	38(76%) ↑増	6(12%) ↑減	6(12%) ↑減
	令和5年度	13(26%)	14(28%)	23(46%)

◆ 「令和6年度花巻市学力向上アクションプラン」指標項目の検証

※添付資料2『令和6年度花巻市学力向上アクションプラン』の指標項目の検証 参照

小5、中2ともに「令和6年度花巻市学力向上アクションプラン」に掲げる「学級・学年経営の充実」「学習者主体の授業改善」「家庭学習の抜本的改善」に係る指標項目の肯定的回答の改善が顕著です。

(1)「学級・学年経営の充実」の検証

指標項目は、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「自分にはよいところがあると思いますか」「先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「授業や学級活動などで、学級生活をよりよくするために話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか」「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」の5つで、調査結果は次の通りです。

1 学校に行くのは楽しいと思いますか									
		小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
		花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
思う		53.0	49.0	54.0	49.0	87.0	85.0	90.0	86.0
どちらかといえば↑		34.0	36.0	36.0	37.0	2.0		4.0	
どちらかといえば↓		9.0	10.0	7.0	10.0	13.0	14.0	10.0	14.0
思わない		4.0	4.0	3.0	4.0	-1.0		-4.0	
2 自分にはよいところがあると思いますか									
		小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
		花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
思う		35.0	33.0	41.0	34.0	77.0	76.0	82.0	80.0
どちらかといえば↑		42.0	43.0	41.0	46.0	1.0		2.0	
どちらかといえば↓		16.0	16.0	14.0	15.0	23.0	24.0	19.0	21.0
思わない		7.0	8.0	5.0	6.0	-1.0		-2.0	
15 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか									
		小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
		花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
思う		41.0	42.0	46.0	43.0	84.0	83.0	90.0	87.0
どちらかといえば↑		43.0	41.0	44.0	44.0	1.0		3.0	
どちらかといえば↓		12.0	12.0	8.0	9.0	16.0	18.0	10.0	12.0
思わない		4.0	6.0	2.0	3.0	-2.0		-2.0	

19 授業や学級活動などの話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか(R5新規)										指標1-4			
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答					5年度実績		6年度実績	
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県		小5	中2	小5	中2
思う	30.0	31.0	36.0	32.0	76.0	74.0	80.0	76.0		73.0	73.0	76.0	80.0
どちらかといえば↑	46.0	43.0	44.0	44.0	2.0		4.0						
どちらかといえば↓	17.0	18.0	16.0	17.0	25.0	26.0	20.0	23.0		5年度から新しい質問項目			
思わない	8.0	8.0	4.0	6.0	-1.0		-3.0						

22 学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか										指標1-5			
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答					5年度実績		6年度実績	
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県		小5	中2	小5	中2
思う	48.0	47.0	45.0	46.0	84.0	85.0	87.0	88.0		86.0	88.0	84.0	87.0
どちらかといえば↑	36.0	38.0	42.0	42.0	-1.0		-1.0						
どちらかといえば↓	12.0	11.0	10.0	9.0	16.0	15.0	13.0	12.0		元年度から新しい質問項目			
思わない	4.0	4.0	3.0	3.0	1.0		1.0						

① 市の目標達成の状況

小5は2項目で上回り、1項目で同等、2項目で下回りました。中2は4項目で上回り、1項目で下回りました。

② 前年度実績値からの変容

小5、中2ともそれぞれ4項目で上回り、1項目で下回りました。

③ 県の実績値との比較

小5、中2ともそれぞれ4項目で上回り、1項目で下回りました。

「学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか」の肯定的回答は、小5・中2ともに県を下回っています。心理的安全性の高い教室の雰囲気は、児童生徒の学習に大きく影響すると考えられ、数字以上に気にかける必要がある質問項目です。

(2) 「学習者主体の授業改善」の検証

指標項目は、「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」「あなたは授業の中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったかが分かったと感じていますか」「先生は、あなたが授業やテストで分からなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか」の4つで、調査結果は次の通りです。

26 授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか										指標2-1			
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答					5年度実績		6年度実績	
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県		小5	中2	小5	中2
思う	40.0	40.0	46.0	43.0	82.0	81.0	86.0	85.0		81.0	85.0	82.0	86.0
どちらかといえば↑	42.0	41.0	40.0	42.0	1.0		1.0						
どちらかといえば↓	14.0	14.0	10.0	11.0	18.0	19.0	14.0	15.0		30年度の質問項目がなくなり、元年度から新しい質問項目			
思わない	4.0	5.0	4.0	4.0	-1.0		-1.0						

20 授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか										指標2-2			
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答					5年度実績		6年度実績	
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県		小5	中2	小5	中2
思う	36.0	33.0	37.0	32.0	78.0	78.0	83.0	80.0		76.0	80.0	78.0	83.0
どちらかといえば↑	42.0	45.0	46.0	48.0	0.0		3.0						
どちらかといえば↓	17.0	16.0	14.0	15.0	22.0	21.0	17.0	19.0		30年度の質問項目がなくなり、元年度から新しい質問項目			
思わない	5.0	5.0	3.0	4.0	1.0		-2.0						

21 あなたは授業の中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったかが、分かったと感じていますか										指標2-3			
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答					5年度実績		6年度実績	
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県		小5	中2	小5	中2
思う	44.0	45.0	42.0	39.0	87.0	87.0	88.0	87.0		84.0	86.0	87.0	88.0
どちらかといえば↑	43.0	42.0	46.0	48.0	0.0		1.0						
どちらかといえば↓	10.0	10.0	10.0	11.0	13.0	13.0	12.0	14.0		30年度の質問項目がなくなり、元年度から新しい質問項目			
思わない	3.0	3.0	2.0	3.0	0.0		-2.0						

23 先生は、授業やテストで分からなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか										指標2-4			
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答					5年度実績		6年度実績	
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県		小5	中2	小5	中2
思う	62.0	61.0	50.0	49.0	91.0	89.0	89.0	89.0		90.0	89.0	91.0	89.0
どちらかといえば↑	29.0	28.0	39.0	40.0	2.0		0.0						
どちらかといえば↓	6.0	7.0	9.0	8.0	9.0	11.0	11.0	11.0		元年度から新しい質問項目			
思わない	3.0	4.0	2.0	3.0	-2.0		0.0						

① 市の目標達成の状況

小5は4項目すべてで上回りました。中2は2項目で上回り、2項目で同等でした。

② 前年度実績値からの変容

小5は4項目すべてで上回りました。中2は3項目で上回り、1項目で同等でした。

③ 県の実績値との比較

小5は2項目で上回り、2項目で同等でした。中2は3項目で上回り、1項目で同等でした。

小5・中2ともに県を下回る項目がありませんでした。「学習者主体の授業改善」については、取組が充実してきている学校が増え、徐々に望ましい方向に推移していると考えます。取組を続け広げる実践が今後力を入れるべきことです。

(3) 「家庭学習の抜本的改善」の検証

指標項目は、「学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか」「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」「学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか」の3つで、調査結果は次の通りです。

7 学校の授業以外で、平日、1日当たりどのくらいの時間、勉強しますか													
		小5		中2		県比				指標3-1			
		花巻市	県	花巻市	県	県比		県比		5年度実績		6年度実績	
3時間以上		7.0	6.0	4.0	4.0	1.0		0.0		小5	中2	小5	中2
2時間以上3時間未満		11.0	12.0	15.0	13.0	-1.0		2.0		57.0	17.0	62.0	19.0
1時間以上2時間未満		44.0	44.0	45.0	42.0	0.0		3.0		小学校は「1時間以上の家庭学習」、中学校は「2時間以上の家庭学習」。			
30分以上1時間未満		29.0	29.0	24.0	27.0	0.0		-3.0					
30分未満		8.0	8.0	9.0	11.0	0.0		-2.0					
まったくしない		2.0	2.0	3.0	5.0	0.0		-2.0					
8 家で、自分で計画を立てて勉強していますか													
		小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				指標3-2			
		花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	5年度実績		6年度実績	
している		27.0	28.0	20.0	15.0	66.0	65.0	58.0	49.0	小5	中2	小5	中2
どちらかといえば↑		39.0	37.0	38.0	34.0	1.0		9.0		63.0	50.0	66.0	58.0
どちらかといえば↓		22.0	21.0	28.0	30.0	34.0	34.0	42.0	51.0				
していない		12.0	13.0	14.0	21.0	0.0		-9.0					
9 学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか													
		小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				指標3-3			
		花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	5年度実績		6年度実績	
当てはまる		22.0	23.0	17.0	17.0	64.0	65.0	63.0	59.0	小5	中2	小5	中2
どちらかといえば↑		42.0	42.0	46.0	42.0	-1.0		4.0		64.0	59.0	64.0	63.0
どちらかといえば↓		24.0	23.0	26.0	28.0	36.0	35.0	37.0	42.0	質問内容が30年度「家で勉強する内容は、次のどれが多いですかの宿題だけでない回答」から変更。			
当てはまらない		12.0	12.0	11.0	14.0	1.0		-5.0					

※ 「＜成果指標2＞花巻市学力向上策の要点」に係る令和6年度目標値設定資料（平成30年度策定、令和元年度部分改定）です。令和元年度から3年度までの3力年で、岩手県実績値の最高値を花巻市令和4年度以降の目標値に設定しています。ただし、岩手県令和5年度実績値が花巻市令和5年度目標値を上回った場合、花巻市令和6年度目標値は岩手県令和5年度実績値に更新しています。【単位％】

学力向上策	指標項目（県学調 児童生徒質問紙 肯定回答）		学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	備考
学級・学年経営の実	1	学校に行くのは楽しいと思いますか	小5	市県	90 88	83 85	87 87	88 87	81 85	84 85	87 86	87	中2	市県	88 88	86 86	87 86	81 84	85 85	84 86	90 86	86	
	2	自分にはよいところがあると思いますか	小5	市県	78 78	69 76	73 74	76 73	68 73	71 72	77 76	78	中2	市県	71 74	70 71	72 72	71 71	74 72	76 76	82 80	71	花巻市3期計画指標
	15	先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小5	市県	78 80	75 79	78 80	80 80	80 81	81 81	84 83	81	中2	市県	82 82	79 82	83 83	80 82	83 84	86 86	90 87	更新 87	
	19	R1～R4学級は、お互いに助け合ったりお互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか R5～新規授業や学級活動の話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小5	市県		77 83	82 86	89 89	83 87	新規 73 73	76 74	更新 74	中2	市県		85 84	88 87	86 88	89 88	新規 73 76	80 76	76	
	22	R1～学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか	小5	市県		81 83	84 86	87 86	84 85	86 85	84 85	86	中2	市県		86 86	88 88	87 88	88 88	88 88	87 88	88	
学習者主体の授業改善	26	R1～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか	小5	市県		82 83	81 82	82 82	84 82	81 80	82 81	83	中2	市県		84 87	86 87	83 85	86 87	85 86	86 85	87	
	20	R1～授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	小5	市県		79 82	80 82	86 83	84 82	76 78	78 78	83	中2	市県		73 78	84 83	83 82	82 82	80 80	83 80	83	
	21	R1～授業中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか	小5	市県		90 91	90 90	92 90	88 88	84 87	87 87	91	中2	市県		83 86	87 88	88 88	87 87	86 86	88 87	88	
	23	R1～先生は、あなたが授業やテストでわからなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいますか	小5	市県		86 91	91 92	93 93	92 92	90 90	91 89	93	中2	市県		84 86	91 90	88 91	91 91	89 90	89 89	91	
家庭学習の抜本的改善	7	学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか（小5・6年→1時間以上、中→2時間以上、勉強している）	小5	市県	74 71	71 69	73 73	76 69	69 67	57 63	62 62	73	中2	市県	20 22	18 21	20 25	16 20	19 20	17 18	19 17	25	
	8	家で、自分で計画を立てて勉強していますか	小5	市県	67 66	67 68	70 70	72 69	69 69	63 66	66 65	70	中2	市県	45 47	49 51	52 54	53 52	52 52	50 50	58 49	54	
	9	R1～学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか	小5	市県		61 65	61 67	68 67	64 68	64 65	64 65	68	中2	市県		51 53	58 59	57 58	61 60	59 58	63 59	60	

【解説】 小5、中2にともに「令和6年度花巻市学力向上アクションプラン」に掲げる「学級・学年経営の充実」「学習者主体の授業改善」「家庭学習の抜本的改善」に係る指標項目の肯定的回答の改善が顕著です。

（1）「学級・学年経営の充実」の検証 ①市の目標達成の状況 小5は2項目で上回り、1項目で同等、2項目で下回りました。中2は4項目で上回り、1項目で下回りました。②前年度実績値からの変容小5、中2とも4項目で上回り、1項目で下回りました。③県の実績値との比較小5、中2ともそれぞれ4項目で上回り、1項目で下回りました。

（2）「学習者主体の授業改善」の検証 ①市の目標達成の状況 小5は4項目すべてで上回りました。中2は2項目で上回り、2項目で同等でした。②前年度実績値からの変容 小5は4項目すべてで上回りました。中2は3項目で上回り、1項目で同等でした。③県の実績値との比較 小5は2項目で上回り、2項目で同等でした。中2は3項目で上回り、1項目で同等でした。

（3）「家庭学習の抜本的改善」の検証 ①市の目標達成の状況 小5は3項目すべてで下回りました。中2は2項目で上回り、1項目で下回りました。②前年度実績値からの変容 小5は2項目で上回り、1項目で同等でした。中2は3項目すべてで上回りました。③ 県の実績値との比較 小5は1項目で上回り、1項目で同等、1項目で下回りました。中2は3項目すべてで上回りました。

◆ 児童生徒の健全育成と学力向上に向けて留意したい児童生徒質問紙調査項目

「令和6年度花巻市学力向上アクションプラン」の指標に掲げてはませんが、「学級・学年経営の充実」「学習者主体の授業改善」「家庭学習の抜本的改善」に深く関係する他の児童生徒質問紙調査項目の調査結果です。

(1) 「学級・学年経営の充実」の推進

生徒指導と教科指導は両輪の関係と言われ、互いに密接な関係を保ちつつ相互に補完し合うことはよく知られています。そこで、「教科指導の充実」を図り「学力向上」で成果を上げるために、「生徒指導の安定」を図り「心理的安全性の高い教室の雰囲気確保」することが重要です。

「リスク・マネジメント」が脱輪した状態では「カリキュラム・マネジメント」の効果は出にくいということです。学級・学年経営に際しては、「リスク・マネジメント」「カリキュラム・マネジメント」両者のバランスを意識することが大切です。

17 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
思う	82.0	81.0	83.0	80.0	96.0	96.0	98.0	96.0
どちらかといえば↑	14.0	15.0	15.0	16.0	0.0		2.0	
どちらかといえば↓	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	2.0	3.0
思わない	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0		-1.0	

16 人が困っているときは、進んで助けようと思いますか								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
思う	65.0	65.0	68.0	65.0	96.0	96.0	96.0	96.0
どちらかといえば↑	31.0	31.0	28.0	31.0	0.0		0.0	
どちらかといえば↓	2.0	3.0	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
思わない	2.0	1.0	0.0	1.0	0.0		0.0	

18 児童・生徒会活動や学級活動などで、学級生活をよりよくするために話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
決めている	44.0	40.0	44.0	39.0	88.0	86.0	91.0	88.0
どちらかといえば↑	44.0	46.0	47.0	49.0	2.0		3.0	
どちらかといえば↓	10.0	11.0	8.0	10.0	13.0	14.0	10.0	13.0
決めていない	3.0	3.0	2.0	3.0	-1.0		-3.0	

(2) 「学習者主体の授業改善」の推進

現時点で児童生徒の学力低下の要因を裏付け特定できる証拠はありませんが、学力低下の要因として次のようなことが考えられます。

- ① 情報機器普及、コロナ禍等、社会や家庭の変化が子どもの生活や学習に影響？
- ② 少子化で高校の定員割れが多くなり、子どもの学ぶ目的意識や保護者の進学ニーズに影響？
- ③ 我慢する、頑張る、挑戦する等、価値観の多様化が学び方、生き方、育て方等に影響？
- ④ 変容した子どもの実態にマッチしなくなった学校の教育活動や教育行政の施策の影響？
- ⑤ ①～④は全国・県共通の要因、当市独自の本質的な要因、例えば子育て、教育の文化の変化の影響？

仮に、学力低下の要因がここに掲げるようなことであったとしても、私たち学校教育関係者は、各学校で毎日行われている一人一人の先生方の授業を充実していくしかありません。そのためには、それぞれが担当する児童生徒の実態を知り、その実態に即した手立てを工夫し、児童生徒一人一人を伸ばす結果につなげることが大切になります。

28 国語の勉強は好きですか								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
好き	30.0	27.0	26.0	29.0	69.0	65.0	70.0	72.0
どちらかといえば↑	39.0	38.0	44.0	43.0	4.0		-2.0	
どちらかといえば↓	18.0	22.0	23.0	20.0	31.0	35.0	30.0	28.0
好きではない	13.0	13.0	7.0	8.0	-4.0		2.0	

29 国語の授業の内容はよく分かりますか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
よく分かる	42.0	42.0	33.0	36.0	87.0	87.0	90.0	88.0	
どちらかといえば↑	45.0	45.0	57.0	52.0	0.0		2.0		
どちらかといえば↓	9.0	10.0	9.0	9.0	14.0	13.0	11.0	11.0	
分からない	5.0	3.0	2.0	2.0	1.0		0.0		
小33中32 算数・数学の勉強は好きですか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
好き	32.0	34.0	27.0	26.0	60.0	61.0	57.0	54.0	
どちらかといえば↑	28.0	27.0	30.0	28.0	-1.0		3.0		
どちらかといえば↓	20.0	20.0	27.0	26.0	40.0	39.0	44.0	46.0	
好きではない	20.0	19.0	17.0	20.0	1.0		-2.0		
小34中33 算数・数学の授業の内容はよく分かりまかか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
よく分かる	41.0	43.0	32.0	29.0	83.0	81.0	72.0	67.0	
どちらかといえば↑	42.0	38.0	40.0	38.0	2.0		5.0		
どちらかといえば↓	12.0	13.0	21.0	23.0	17.0	19.0	29.0	33.0	
分からない	5.0	6.0	8.0	10.0	-2.0		-4.0		
小37中36 社会の勉強は好きですか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
好き	33.0	37.0	45.0	45.0	66.0	68.0	84.0	81.0	
どちらかといえば↑	33.0	31.0	39.0	36.0	-2.0		3.0		
どちらかといえば↓	20.0	18.0	11.0	14.0	34.0	32.0	16.0	19.0	
好きではない	14.0	14.0	5.0	5.0	2.0		-3.0		
小38中37 社会の授業の内容はよく分かりますか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
よく分かる	48.0	50.0	48.0	44.0	86.0	88.0	89.0	86.0	
どちらかといえば↑	38.0	38.0	41.0	42.0	-2.0		3.0		
どちらかといえば↓	10.0	9.0	9.0	12.0	14.0	13.0	11.0	15.0	
分からない	4.0	4.0	2.0	3.0	1.0		-4.0		
小41中40 理科の勉強は好きですか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
好き	56.0	53.0	36.0	37.0	83.0	82.0	76.0	76.0	
どちらかといえば↑	27.0	29.0	40.0	39.0	1.0		0.0		
どちらかといえば↓	11.0	12.0	17.0	17.0	17.0	19.0	24.0	24.0	
好きではない	6.0	7.0	7.0	7.0	-2.0		0.0		
小42中41 理科の授業の内容はよく分かりますか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
よく分かる	58.0	57.0	32.0	34.0	92.0	90.0	78.0	78.0	
どちらかといえば↑	34.0	33.0	46.0	44.0	2.0		0.0		
どちらかといえば↓	6.0	7.0	17.0	17.0	8.0	10.0	22.0	22.0	
分からない	2.0	3.0	5.0	5.0	-2.0		0.0		
小47中46 外国語・英語の勉強は好きですか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
好き	34.0	43.0	25.0	27.0	69.0	74.0	61.0	59.0	
どちらかといえば↑	35.0	31.0	36.0	32.0	-5.0		2.0		
どちらかといえば↓	18.0	15.0	27.0	25.0	30.0	26.0	39.0	41.0	
好きではない	12.0	11.0	12.0	16.0	4.0		-2.0		
小48中47 外国語・英語の授業の内容はよく分かりますか									
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答				
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	
よく分かる	36.0	43.0	26.0	27.0	74.0	78.0	68.0	67.0	
どちらかといえば↑	38.0	35.0	42.0	40.0	-4.0		1.0		
どちらかといえば↓	17.0	15.0	24.0	22.0	26.0	22.0	32.0	33.0	
分からない	9.0	7.0	8.0	11.0	4.0		-1.0		

(3)「家庭学習の抜本的改善」の推進

目白学園理事長の尾崎春樹氏は「家庭環境が学力に与える影響」を整理しています。それによると、**学力上位の子どもの家庭では、「テレビ・ゲーム時間のルールなど規則的な生活習慣があること」「自制心、意欲、忍耐力などの非認知スキルを高める働きかけを行っていること」「読み聞かせ、読書や新聞、外国語や外国文化などにより知的好奇心を刺激していること」「予習や復習など毎日の家庭学習習慣を身**

に付けさせていること」「そしてこれらの前提として子どもとの会話が早いこと」を挙げています。

このことについては児童生徒講話や保護者対象講演等で必ず話題にしている内容ですが、次の通り携帯電話やスマートフォンの長時間利用は、県との比較では大きな差は見られないものの、小5、中2とも年々増え続ける現状です。児童生徒の睡眠時間や学習時間を適切に確保するためには、ご家庭でメディアに触れる時間をコントロールして、児童生徒の節度、規律ある生活習慣を維持、確立することが大切です。

岩手県学習定着度状況調査児童生徒質問紙調査「携帯電話やスマートフォンの利用時間」

スマホ等の 利用時間	小学校5年生						
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
3時間以上	7%	6%	21%	19%	28%	24%	28%
1時間未満	78%	77%	36%	40%	31%	36%	33%
スマホ等の 利用時間	中学校2年生						
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
3時間以上	11%	23%	23%	27%	28%	30%	36%
1時間未満	54%	25%	26%	21%	18%	27%	17%

4 スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解していますか								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
理解している	86.0	86.0	91.0	88.0	98.0	97.0	99.0	98.0
どちらかといえば↑	12.0	11.0	8.0	10.0	1.0		1.0	
どちらかといえば↓	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0
理解していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	

5 平日、1日当たりどのくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見ますか								
	小5		中2		県比			
	花巻市	県	花巻市	県	県比		県比	
4時間以上	21.0	18.0	12.0	11.0	3.0		1.0	
3時間以上4時間未満	19.0	18.0	10.0	13.0	1.0		-3.0	
2時間以上3時間未満	22.0	25.0	20.0	22.0	-3.0		-2.0	
1時間以上2時間未満	24.0	23.0	25.0	26.0	1.0		-1.0	
1時間未満	12.0	13.0	27.0	23.0	-1.0		4.0	
まったくしない	3.0	3.0	5.0	5.0	0.0		0.0	

6 平日、1日当たりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを利用しますか								
	小5		中2		県比			
	花巻市	県	花巻市	県	県比		県比	
4時間以上	15.0	13.0	19.0	17.0	2.0		2.0	
3時間以上4時間未満	13.0	13.0	17.0	20.0	0.0		-3.0	
2時間以上3時間未満	18.0	20.0	25.0	28.0	-2.0		-3.0	
1時間以上2時間未満	21.0	22.0	22.0	21.0	-1.0		1.0	
1時間未満	19.0	19.0	12.0	9.0	0.0		3.0	
まったくしない	14.0	13.0	5.0	4.0	1.0		1.0	

10 学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか(自主学習とは、自分で学習内容を決めて取り組むことを意味します)								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
当てはまる	30.0	30.0	23.0	21.0	59.0	59.0	51.0	53.0
どちらかといえば↑	29.0	29.0	28.0	32.0	0.0		-2.0	
どちらかといえば↓	23.0	22.0	29.0	28.0	41.0	41.0	49.0	48.0
当てはまらない	18.0	19.0	20.0	20.0	0.0		1.0	

24 テストで間違えた問題について、できるようになるまでやり直していますか								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
している	32.0	36.0	27.0	25.0	77.0	76.0	73.0	68.0
どちらかといえば↑	45.0	40.0	46.0	43.0	1.0		5.0	
どちらかといえば↓	18.0	18.0	21.0	24.0	23.0	24.0	28.0	32.0
していない	5.0	6.0	7.0	8.0	-1.0		-4.0	

25 あなたは、授業で分からなかったところや、理解していないところについて、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりして、解決していますか								
	小5		中2		肯定(上段)・否定(下段)的回答			
	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県	花巻市	県
している	47.0	48.0	46.0	44.0	85.0	83.0	85.0	84.0
どちらかといえば↑	38.0	35.0	39.0	40.0	2.0		1.0	
どちらかといえば↓	11.0	12.0	11.0	12.0	15.0	17.0	15.0	16.0
していない	4.0	5.0	4.0	4.0	-2.0		-1.0	

令和6年度から令和7年度に向けた学力向上に係る方向性と具体策

小5はR5小4CRT、R4小3CRTいずれにおいても過去最低を更新し続け、過去最低だった前回調査よりさらに厳しい結果が予測されていました。そこで、本年度は小5児童対象講話、保護者対象講演、教員対象授業改善講話を原則悉皆として力を入れました。その結果、取組の効果が数字に表れる小学校が増え、次の通り国語・算数とも1年間の成長としては過去最大幅の伸びとなりました。

「花巻市HP掲載「令和6年度花巻市学力向上アクションプラン」抜粋挿入

○ CRT・県学調・全国学調における花巻市と県・全国の平均正答率との差一覧【単位ポイント】

R6 年度 学年	小3 全国 CRT	国 語	算 数	小4 全国 CRT	国 語	算 数	小5 県 学調	国 語	社 会	算 数	理 科	小6 全国 学調	国 語 A	国 語 B	算 数 A	算 数 B	理 科
小5	R4	-2	-2	R5	-2	-4	R6	-2	-	-3	-	R7					
		最低危機			過去最低												
小6	R3	+1	+2	R4	+1	0	R5	-3	-	-3	-	R6	-2		-8		-
		課題			過去最低			過去最低大きく更新									
中1	R2	+4	+5	R3	+3	0	R4	-1	-	-2	-	R5	-1		-4		-
					課題			過去最低危機的					算数過去最低危機的				
中2	R1	+3	+3	R2	+4	+4	R3	0	-	+1	-	R4	0		-2	-2	
					改善			前々学年より国算改善					前学年より改善も課題大				
中3	H30	+5	+5	R1	+4	+5	R2	コロナ 中止	-	コロナ 中止	-	R3	-2		-4		-

○ 県学調の予測値と実績値から算定した小5・中2段階の1年間の成長

【単位ポイント】

R 6 学年	小学校 5 年					
	国語			算数		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
小 5	-5.5	-2.1	+3.4	-7.2	-2.5	+4.7
小 6	-3.2	-3.4	-0.2	-3.5	-2.8	+0.7
中 1	+0.3	-0.8	-1.1	-3.0	-1.8	+1.2
中 2	+1.0	-0.5	-2.5	+1.5	+0.5	-1.0
中 3	+1.1	無	—	+2.3	無	—

R 6 学年	中学校 2 年					
	数学			英語		
	予測値	実績値	成長	予測値	実績値	成長
中 2	-3.4	+0.7	+4.1	-0.9	-0.5	+0.4
中 3	-6.2	-4.3	+1.9	-1.1	-0.4	+0.7
高 1	-1.0	-2.1	-1.1	+1.1	-0.7	-1.8
高 2	-1.6	-2.0	-0.4	-1.0	-1.1	-0.1
高 3	-0.6	無	—	+2.8	-1.0	-3.8

今後は、これら望ましい変容を偶然とせず、取組を続け広げる実践が求められます。そこで、取組の効果が数字に表れている学校の中から、特に早い段階から児童、保護者、教員等を対象に多用な取組を実施して改善に努めている桜台小学校と湯口小学校の実践を紹介します。さらに、11月25日に実施した研究主任研修会に際しては、添付資料3を使った講話を踏まえて、それに関わる取組を行っている桜台小学校の実践を発表していただきました。改善に向けた取組の継続と広がりがねらいです。

◆ 桜台小学校の校内取組事例

- 【令和5年度まで】児童講話・教員個別研修等を精力的に実施していただきました
- 4/22PTA 役員の皆様を対象に説明会を実施していただきました
 - ・ 花巻の子どもたちの学力・意識の現状 その後
 - ・ 成果をより確かなものにしていくために、これからお願いしたいこと
- 4/25 先生方を対象に授業改善研修会を実施していただきました
 - ・ 効果を高める校内研究の進め方
 - ・ 結果につながる授業改善の方策
- 4/27 すべての保護者の皆様を対象に講演会を実施していただきました
 - ・ 花巻の子どもたちの学力・意識の実態
 - ・ 課題解決のため取り組んでいること・保護者の皆様をお願いしたいこと
- 1/20 全校研究会の予定
 - ・ 取組の発表
 - ・ 成果と課題

桜台小学校から

研究主任研修会で実践発表したことが、先生方の自信になり、今後に向けた意欲につながっています。

◆ 湯口小学校の校内取組事例

- 【令和5年度】12/26 先生方を対象に授業改善研修会を実施していただきました
 - ・ 効果を高める校内研究の進め方
 - ・ 結果につながる授業改善の方策
- 【令和5年度】2/8 学校運営協議会の皆様を対象に説明会を実施していただきました
 - ・ 花巻の子どもたちの学力・意識の実態
 - ・ 課題解決のために取り組んでいること、地域の皆様をお願いしたいこと
- 【令和5年度】2/15 小5児童・保護者の皆様を対象に講話させていただきました
 - ・ 花巻の子どもたちの学力・意識の実態
 - ・ 学力が高まる学び方と生活の仕方
- 6/20 すべての保護者の皆様を対象に講演会を実施していただきました
 - ・ 花巻の子どもたちの学力・意識の実態
 - ・ 課題解決のため取り組んでいること、保護者の皆様をお願いしたいこと
- 11/14PTA 役員の皆様を対象にその後の状況を報告させていただきました
 - ・ 花巻の子どもたちの学力・意識の現状 湯口小学校のその後
 - ・ 成果をより確かなものにしていくために、これからお願いしたいこと
- 11/28 小4児童・保護者の皆様を対象に講話させていただきました
 - ・ 花巻の子どもたちの学力・意識の実態
 - ・ 学力が高まる学び方と生活の仕方
- 12/4 小4児童の保護者の皆様を対象にディスカッションさせていただきました
 - ・ 湯口小学校4年生の学力の実態
 - ・ 親として我が子とどう関わるか？

湯口小学校から

市教委と連携して校内・地域で学力向上の取組を進め、学校と教員の意識は明らかに変容しています。

花巻市内各校における諸調査の結果分析と授業改善

一生徒指導の安定と教科指導の充実

花巻市教育委員会 学校教育課 学力向上担当

学校経営や学校運営を考える時、「生徒指導の安定」と「教科指導の充実」が要になることは誰もが認めると思います。人間形成に生徒指導の三機能「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」が重要と考えられていること、生きる力の土台となる義務教育段階の学力を左右する授業が学校生活の大部分を占めていることを踏まえれば、至極当然のことです。

また、生徒指導と教科指導は両輪の関係と言われ、互いに密接な関係を保ちつつ相互に補完し合うこともよく知られています。そこで、ここでは特に「生徒指導の安定」を踏まえつつ、「教科指導の充実」に向けた方策を考えます。

今日

お伝えしたいこと

- ・花巻市の学力低下の正体と課題解決の方策 p. 1-19
- ・児童生徒にお話ししていること（抜粋） p.20-21
- ・保護者の皆様をお願いしていること（抜粋） p.22-23
- ・学力向上担当が取り組んでいること（抜粋） p.24-25
- ・教職員の皆様にご理解ご協力いただきたいこと p.26-36

I 花巻市の学力低下の正体と課題解決の方策

1 学力低下の正体

本資料3ページ（省略）は、ここ10年間の花巻市の全国、県と比較した児童生徒の学力の実態です。近年、すべての学年で県、全国と比較する学力が大きく低下し続けています。

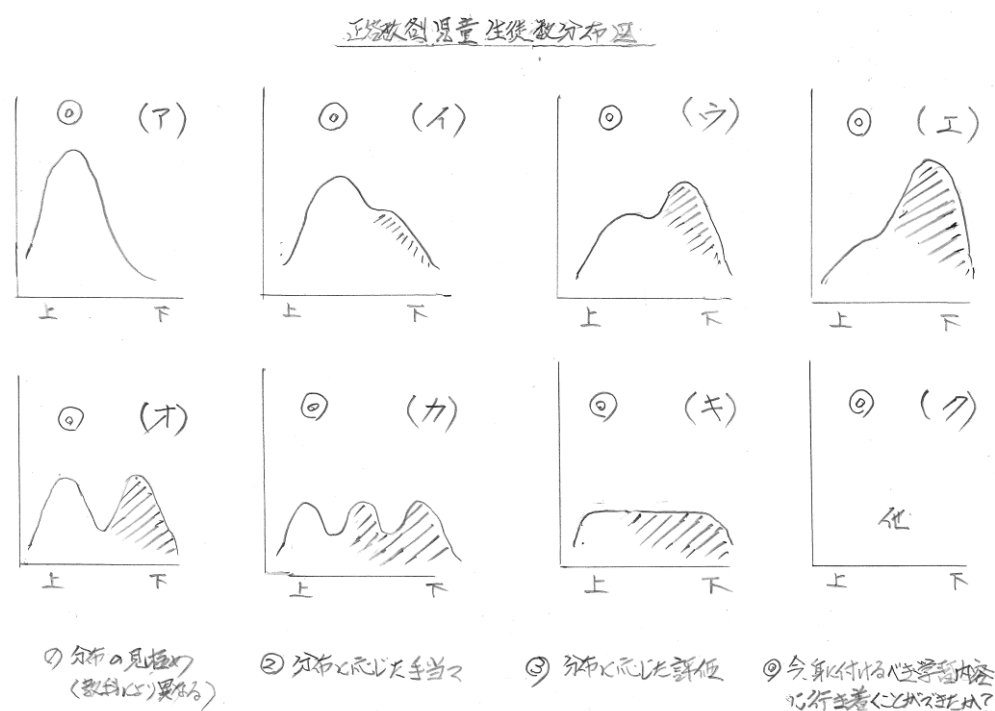
また、本資料4・5ページは、令和元年度から令和6年度までの5年間の小学校6年生と中学校3年生の全国学力・学習状況調査の「教科毎の正答数別児童生徒の分布」（学力上位層から下位層までの児童生徒数の散らばり具合）です。校種、教科、年度により分布は異なりますが、年々学力上位層が減り下位層が増えています。これが学力低下の正体です。

○ 令和元年度の正答数別児童生徒の分布から

例えば、令和元年度の花巻市の小学校国語・算数、中学校国語は、全国、県と同等若しくは全国、県より学力上位層にシフトした大きな山を有す正規分布でした。全国、県に比べて学力が安定していた頃の状態です。一般的に、学力上位層に大きな山を有す正規分布は、学力上位層の同質集団で構成されているため、一斉指導の授業が組み立てやすく、指導の効果も出易い傾向があります。好循環になっていた訳です【次頁グラフ（ア）】。

一方、令和元年度の中学校数学・英語は、学力上位層から下位層まで幅広くなだらかな分布であったり、下位層が厚くなった分布であったりします。全国に比べて県、花巻市の学力が低い状態が続いています。幅広くなだらかな分布や下位層が厚い分布は、習熟度別指導、個別指導等のきめ細かな指導の手立て等を徹底した授業に改善したり、授業以外の時間で補充指導を継続したりしない

限りなかなか効果が得られず、かといって手立てを講じないまま放置すると一層学力低下が進行します【下図グラフ(イ)→(ウ)→(エ)】。県、花巻市が長年にわたり中学校数学・英語の学力向上に苦しんでいる所以です。これが学校毎の分布となるとさらに複雑多種多様で、学力上位層と下位層に二極化したり、学力上位層から下位層まで断続的に分断したり、一層一斉指導の授業が難しく、指導効果も得られにくい状態になっています【下図グラフ(オ)(カ)(キ)】。悪循環の連鎖です。



○ 令和元年度以降の正答数別児童生徒の分布から

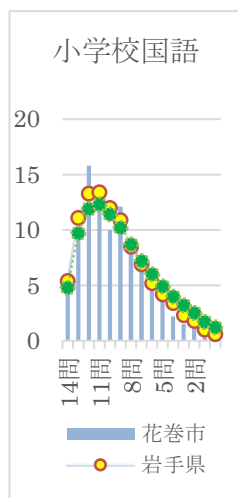
ところが、平成28年度に小学校に入学して令和3年度に小6となった以降の学年は、かつて学力が安定していた小学校国語・算数、中学校国語でも年々幅広くなだらかな分布に向かい始め、中学校数学・英語にあっては徐々に上位層の山が小さくなり下位層の山が分厚くなっています【上図グラフ(イ)(ウ)(エ)】。このことは、資料4・5ページの「教科毎の正答数別児童生徒の分布」が年度により異なる集団のものであることを踏まえると、いずれの学年でも年を追うごとに指導が難しく、効果が出にくい方向に向かい続け、先が見えない由々しき状況にあります。とりわけ近年の花巻市は厳しさが増しています。

花巻市ホームページ掲載「令和6年度花巻市学力向上アクションプラン」で提案する「ゴールから組み立て基礎基本を定着し学習意欲を高める授業改善」は、学力上位層から下位層まで幅広くなだらかな分布であったり、学力上位層のくぼみと下位層の膨らみが進行した二極化傾向の分布であったり、学力上位層から下位層まで断続的に分断した分布であったり、国、県の動向を踏まえつつも近年の花巻市の児童生徒の学力実態を考慮して、少しでも効果を上げようと試みている独自の学習指導過程です。各学校が受け持つ様々な学年集団の実態に応じて、指導方法の一つとしてより多くの学校に活用していただくよう研修会等を行っているところです。

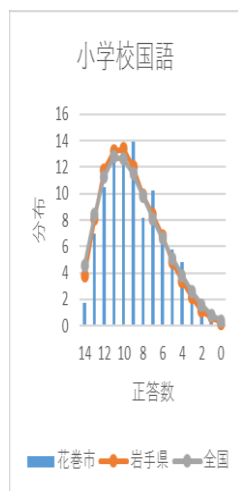
全国学調教科毎正答数別児童数の分布【小学校】

● 国語

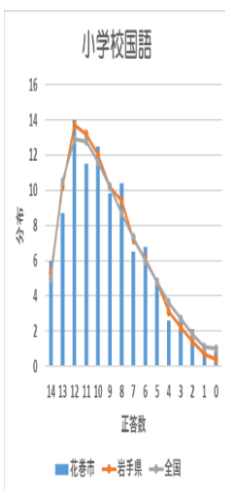
令和元年度調査



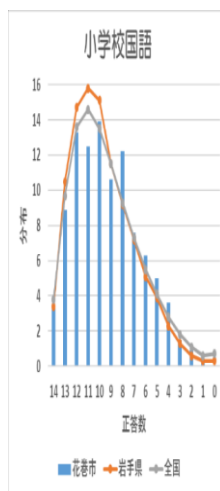
令和3年度調査



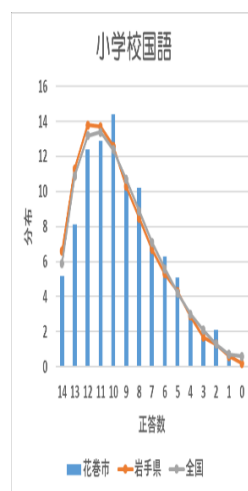
令和4年度調査



令和5年度調査

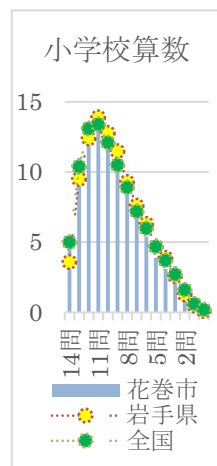


令和6年度調査

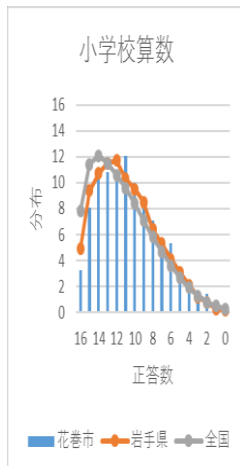


● 算数

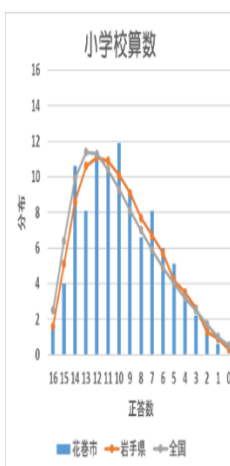
令和元年度調査



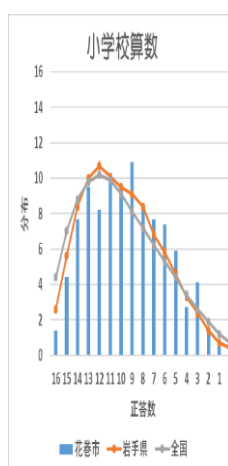
令和3年度調査



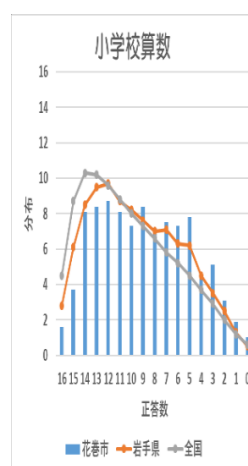
令和4年度調査



令和5年度調査



令和6年度調査



● 理科

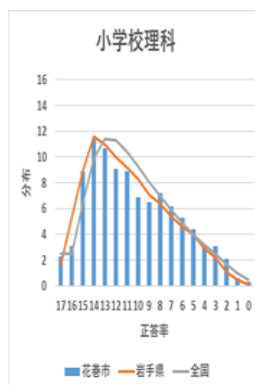
令和元年度調査

未実施

令和3年度調査

未実施

令和4年度調査



令和5年度調査

未実施

令和6年度調査

未実施

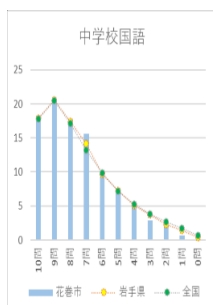
花巻市では、どの教科も、年々、学力上位の児童数が減り、学力下位の児童数が増え続けています。特に、算数で目立ちますが、近年は得意だった国語でも同じような状況が見られます。

このことは、全国や県に比べて、花巻市の児童一人一人の学力が伸びていない、年々、落ちてきているということです。大変大きな問題です。

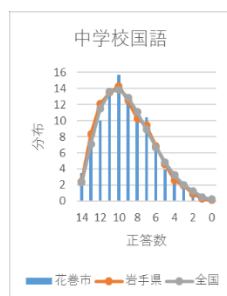
全国学調教科毎正答数別生徒数の分布【中学校】

● 国語

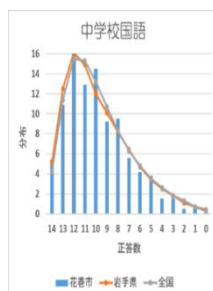
令和元年度調査



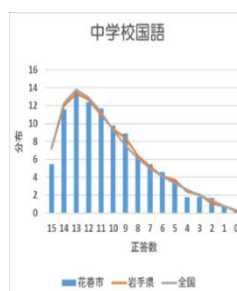
令和3年度調査



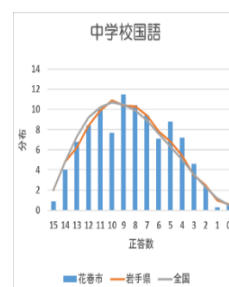
令和4年度調査



令和5年度調査



令和6年度調査

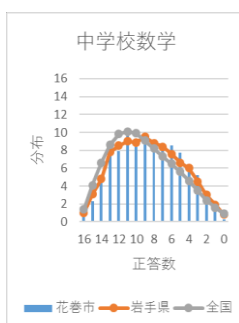


● 数学

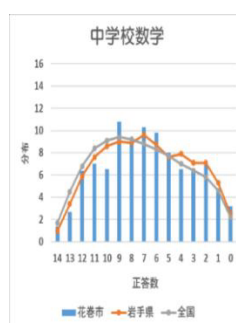
令和元年度調査



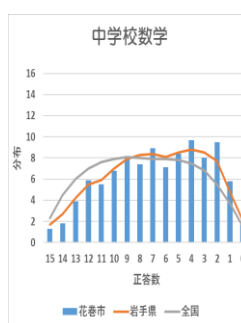
令和3年度調査



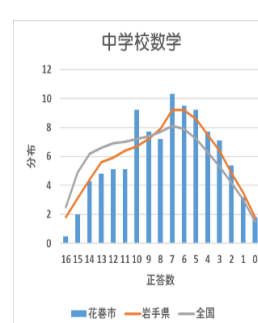
令和4年度調査



令和5年度調査



令和6年度調査



● 理科

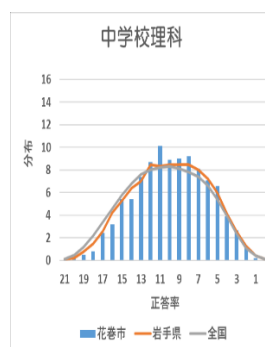
令和元年度調査

未実施

令和3年度調査

未実施

令和4年度調査



令和5年度調査

未実施

令和6年度調査

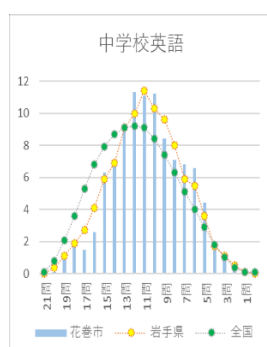
未実施

花巻市では、どの教科も、年々、学力上位の生徒数が減り、学力下位の生徒数が増え続けています。特に、数学、英語は以前から課題でしたが、今は得意だった国語でも同じような状況が見られます。

このことは、全国や県に比べて、花巻市の生徒一人一人の学力が伸びていない、年々、落ちてきているということです。大変大きな問題です。

● 英語

令和元年度調査



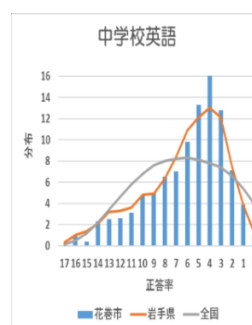
令和3年度調査

未実施

令和4年度調査

未実施

令和5年度調査



令和6年度調査

未実施

>>> 4年後 >>>

2 課題解決の方策

花巻市でも年々少子化が進行していますが、それでも一つの学年集団の児童生徒数は700人前後です。この大人数の学力分布の山が見た目で判別できるほど動くということは相当の変化で、もはや一部の学校・学年・学級、限られた児童生徒・教師・授業に起因する問題とは考えにくく、全面に広がる土壌、全体を覆う空気、大げさに言えば子育て、教育の文化の影響と考えなければならない深刻な状態です。

逆に、県、花巻市が長年にわたり中学校数学・英語の学力向上で苦勞していることを考えると、一度陥った負の分布を元の良い分布に戻すことは至難の業です。相当に思い切った手立てを講じていかない限り、上方修正はおろか現状維持さえも困難になるということです。今取り組んでいることが本当に必要なことなのか、成果につながる取組なのか偏ることなく検証し、よくない体質になっていないか、このままの体制でよいのかフラットに見直さなければならない危機的な段階です。

○ 生徒指導は安定しているか

学校経営や学校運営に「生徒指導の安定」と「教科指導の充実」が重要であることは先に述べたとおりですが、生徒指導については担当領域でないことから、学校現場にいた時の経験を元に控え目にお話しさせていただきます。

児童生徒や教職員が明るく、楽しく、前向きに学習したり仕事したりしている学校で仕事をすることがあります。取り立てて学力向上の手立てを講じている訳ではないのに、児童生徒の学力は全体的に安定し、スポーツ・文化活動での児童生徒の活躍も目覚ましい状態の学校です。人を育む文化、よい空気、土壌がある組織と言えます。

《成果を生み出している学校の姿とは》 資料1参照 (省略)

人間関係が良好で、楽しい雰囲気の中で、協力して成果を生み出そうと努力する空気
児童生徒、保護者、地域の信頼が厚く、効率的・効果的に仕事をしている教職員組織
立ち居振る舞いや表情・言動がさわやか、失敗を恐れずチャレンジを続ける児童生徒
そして何より

児童生徒、保護者、地域等の困難事案に、率先垂範、迅速対応できるリーダーの存在

《成果を生み出す学校になるためには》 資料1参照 (省略)

一人一研、教科等部会を廃止した今 教員研修・校内研究会の在り方～OJTの推進
成果が伴わない今 日常的に結果やゴールを意識する教職員の実践～焦点化と数値化
成果と課題の見極め 指導力向上～それぞれが受け持つ児童生徒の姿として検証発信
そして何より

豊富な経験、多様な理論に裏打ちされた言動で、責任と覚悟があるブレないリーダー

先に記載した悪循環に陥っている学力分布にあると、授業が分からない、ついていけない児童生徒が増えていきます。中には立ち歩いたり関係のない話をしたりして、授業に支障をきたす言動が出てくることもあります。生徒指導が不安定なよくない環境になります。自ら所属する組織の風土はいかがですか。まずは、それぞれが受け持つ領域、集団に対して、「生徒指導の充実」に向けた改善の余地はないのか顧みていただければ幸いです。

○ 教科指導は充実しているか

本来は、悪循環の学力分布にならないように事前に対策しなければならない訳ですが、花巻市の現状はすでに多くの学校の多くの学年で難しい学力分布になっています。かといって、教科担任一人の一斉授業をベースとするスタイルで、毎時間、習熟度別指導、個別指導等の手立てを十分に講じることには限界があり、多忙化で補充指導の時間も限られているのが学校現場の現実です。

そこで、多くの学校の多くの学年の難しい学力分布を改善していく対策を考えるために、授業を「不易」「流行」の二つに大別し、改善に向けた具体的な方法を考えていきます。「不易」とは、授業を充実するために昔から大切にされてきた次の12項目です。近年は人を増やすことに目が行きがちですが、増員には多額の費用がかかるので限度があります。改めて、教科担任一人で行う一斉授業を充実するために、自らの授業の「不易」を見直し、改善すべき点があれば自ら修正していただくようお願いします。

《授業を充実するための視点「不易」》 資料2参照 (省略)

- ・ 授業開始のあいさつ 真剣さ、静けさ、集中力、学びの意欲
- ・ 前時までの想起 今日の新たな学びに必要な最低限の無駄のない内容
- ・ 学習用具 子どもの集中力、学習スペースの確保
- ・ 板書 子どもにとっての45分間の思考過程が1ペーパーにまとめられたイメージ
- ・ 学習課題 子どもの思考に落ちる表現
- ・ 学習方法 課題解決に沿っていること
- ・ 発問 明確に、簡潔に、平明に、子どもの心にしみこむように、
教師のやさしさ、温かさ、愛情、人間性が表れるように
- ・ 一人学び 学習方法に沿った自力解決、個別指導の機会
- ・ 学び合い 教師が整理し、共通性や客観性を見出し、学習の要を定着
- ・ 発言・発表 指名・挙手・フリー、子どもの学習意欲や成就感を意識
- ・ 家庭学習 一人で行うこと（下位の子はできそうないことに意欲が湧かない）、
もっとできる子にはチャレンジ問題（上位の子もさらに伸ばす意識）
- ・ 次時の予告 知的好奇心や興味・関心を高める

《授業を充実するための視点「流行」》 本資料p. 26以降参照 (省略)

- ・ 個別最適な学び 子どもに委ねる時間を作り、つまづいている子には個別指導で基礎
基本の定着、できている子には発展問題で成就感
- ・ 協働的な学び 個別最適な学びと往還、主体的・対話的で深い学び、単なる発表会で
終わらないよう留意
- ・ 見取り・評価 指導と評価の一体化、演習、確認テスト(評価問題の活用)、家庭学習
に連動
- ・ 目指すサイクル 単元テスト結果の向上➡子どもの学習意欲➡保護者の信頼

「流行」は今日のメインテーマであることから、「教職員の皆様にご理解ご協力いただきたいこと」(p. 26－36)で詳しく掲載させていただきます。

(以下省略)